

「里中学校の史跡活用の取組」

1 学校名

薩摩川内市立里中学校

2 学年・人数

2年 13人

3 日時・場所

(1) 学習会等の日時・場所

- ・ 学習会：7月～ふるさと・コミュニケーション科
資料による調べ学習，プロのガイドによるガイドの説明
- ・ ガイド資料作成：7月～9月

(2) 発表の日時・場所

令和5年9月28日（火）
里町全域

4 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

(1) 名称・時代

- ・ 鶴城（つるじょう）、亀城（かめじょう）：鎌倉時代
- ・ 里麓武家屋敷群：鎌倉時代から江戸時代

(2) 特徴

承久の乱の後、甕島の地頭となった小川氏が築城したと言われている。城の麓には武家屋敷が建ち並び、城の中腹には日露戦争の戦没者の慰霊塔や、緊急時に村全体へ知らせる鐘が設置されている。江戸時代には一国一城令にもとづき、亀城が廃城となった。また、小川氏が統治していた頃の名残として武家屋敷通りがある。この里麓武家屋敷跡は、小川氏の居城であった「亀城」のほど近くにあり、整然と積み上げられた玉石垣と生け垣は見事である。2019年、日本遺産「薩摩の武士が生きた町～武家屋敷群「麓」を歩く～」の構成資産として登録された。

5 保存会や地域との連携の具体

ふるさと・コミュニケーション科の時間に、地域の方から鶴城・亀城の歴史や由来について教えてもらった。その後、自分たちで調べ学習を行い、ガイドができるよう分かりやすい表現でのまとめ作業を行った。

6 活用の取組の工夫した点

アイランドガイドという島外から来た小学生に島をガイドするという取り組みの中で、鶴城・亀城を紹介する部分を入れている。実際に城を見せ、一緒に上ってガイドを行った。

7 取組の様子（研究発表，創作劇等）



8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【生徒】

- ・ 今回，ガイドを行って，里の魅力について改めて知ることができた。小学生に歴史など教えるのが難しかったけど，小学生ともしっかりコミュニケーションを取れて，里の良さを伝えられてよかったと思った。
- ・ 小学生に飽きがこないように，里地区のことを調べて，コースづくりを考えているうちに，里地区には多くの文化財や史跡があり，それを大事にしていることに気付いた。

【教員】

生徒は自分の調べたことを丁寧に伝え，手応えをつかんでいたようであった。ガイドを通して自分たちの住む町の歴史や文化に触れることができ，有意義な活動だと思う。